

2023
新春号

ご意見をお聞かせ
ください!

愛知県政レポート

MORII REPORT

愛知県議会議員

森井もとし

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年11月27日、愛知県は現在の愛知県となって150回目の誕生日を迎えました。必ずしも良い事ばかりではなかった歴史の中で、懸命にその時々課題に向き合ってきた先人のたゆまぬ努力により、愛知は我が国屈指の産業力を備えた大都市圏として成長してきました。本年は次の150年を見据え、新たなスタートを切る年として、先人たちの英知を受け継ぎ、さらなる発展、そして将来世代へしっかりとつなげていけるように、お預かりする県議会の議席で全力で活動してまいります。皆様方の引き続きのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

声が形になる県政
「森井もとし」の終始一貫した政治姿勢です

次の世代によりよい条件でバトンを渡すために、限られた予算の中で、無駄を省き、未来へ向けて必要な施策を進める、好循環な愛知県政を目指し引き続き全力で地域の声を形にする活動を進めて参ります。

「想定外がない備えの充実を」

新型コロナウイルス感染の経験を検証し、パンデミック時の医療提供体制、防疫体制の整備を進めると同時に、感染対策と社会活動の両立のあるべき姿の構築に取り組みます。

温暖化による自然災害の頻発化、激甚化に備え社会資本の見直しなど、災害に備えた地域づくりに取り組みます。

「安心安全が地域の基本」

ラウンドアバウト交差点の整備とともにゾーン30+など、交通弱者を守る生活道路の整備に加え、警察行政の充実など、子どもや高齢者に優しい地域づくりに取り組みます。

「産業発展が地域の力へ」

中小企業の人材確保と共に働き方改革の推進、DX導入支援など、強い愛知の産業の更なる充実に取り組みます。

「元気に長生きは安心社会の基本」

認知症に優しい地域づくりなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるケアシステムの充実に取り組みます。



発行元

森井もとし事務所

〒463-0015
名古屋市守山区西島町1-1
電話 052-796-7311
FAX 052-796-7312
E-mail info@morii.org

森井もとし

検索

愛知県政レポート

MORII REPORT

愛知県議会議員

森井もとし

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

森井もとしプロフィール

- 1963年6月生まれ
- 名古屋市立大森小、中学校卒業
- 米国パークシャー高校、米国ボストン大学心理学部卒業
- 伊国グレゴリアン大大学院修士号取得
- 古川元久さんと出会い、政治を志す。
- 2001年7月 参議院議員大塚耕平公設第一秘書
- 2003年4月 愛知県議会議員(守山区)
- 2011年6月 愛知県の金融機関の海外

進出顧問、アセアンで電源開発、工業用地開発会社顧問

- 2015年4月 愛知県議会復帰(3期目) 民主党愛知県議団 政策調査会長
- 2016年5月 健康福祉委員会 委員長
- 2018年4月 新政あいちに参画
- 2020年5月 産業イノベーション推進特別委員会 委員長
- 2021年5月 新政あいち県議団 幹事長

県政150周年を機に新たな愛知を目指す

12月定例会議が、12月1日から20日までの日程で開かれました。一般会計545億余円、特別会計3,400万余円、企業会計1億4,600万余円の補正予算案および、条例の一部改正など、42議案を審議し、可決決定させました。今回の一般会計補正予算は、①新型コロナウイルス感染症対策(配色サービス支援、PCR検査支援、年末年始の医療機関支援、県立学校の学習保証支援など)、②燃油価格高騰対策、③給与改定、④鳥インフルエンザ緊急対策、などが主な内容です。

予算以外の議案では、11月27日を「あいち県民の日」と定めるあいち県民の日条例、個人情報保護に関する法律施行条例などが制定、可決されました。また、「教員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の充実について」、「医師確保対策の充実について」他3件意見書を国に送付しました。なお、昨年度の決算は特別委員会で審議された後、今本会議で認定されました。

県政トピックス TOPICS

ジブリパーク開園

約5年5か月の歳月を経て、11月1日、ジブリパークが開園しました。開園前に心配の声もあった周辺道路の渋滞も、開園に向けて取り組んできた駐車場整備・交差点改良の効果や、リニモの増便など、各種の公共交通機関利用促進策が功を奏し、これまでのところ落ち着いた状態を保っています。今後とも、効果的・効率的な管理運営を行ってまいります。ぜひ、多くの県民の皆様に愛・地球博記念公園に足を運んでいただき、お楽しみいただければと思います。

①青春の丘
来園者を迎え、導くジブリパークの象徴

②ジブリの大倉庫
ジブリ作品等の保管・保存、展示と遊びと憩いの空間

③どんどこ森
サツキとメイの家と自然空間

④もののけの里
あいちサトラポと一体となった体験の場

⑤魔法の谷
ジブリ作品の体験を通じた展示と遊び、休憩等の複合的空間

- …2022年11月1日 開園
- …2023年秋 開園予定
- …2023年度内 開園予定

●問合せ先
県政策企画局ジブリパーク推進課調整第一グループ
(052) 954-6857 ダイヤルイン



いいじゃん、あいち旅キャンペーン

愛知県内旅行が 7,000円 相当お得!!!

2023年 1月10日から3月31日まで (4月1日チェックアウト含む)
※12月21日(水)以前に予約した旅行は対象になりません。

第2弾を 実施します

宿泊代金への販売支援

20%相当額

宿泊(1人1泊あたり)
上限 3,000円

旅行商品代金への販売支援

20%相当額

宿泊 上限 5,000円 (交通付商品)
1人1泊あたり 上限 3,000円 (宿泊のみ)
日帰り 上限 3,000円

地域限定クーポン

1人1泊あたり

平日 2,000円
休日 1,000円

詳しくは、「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」ホームページをご確認下さい
<https://www.ijyan-aichi.jp/>
コールセンター 旅行者専用窓口 0570-000-433(ナビダイヤル)



県政150周年を契機に 11月27日をあいち県民の日とします

- あいち県民の日は、11月27日とします。
- 11月21日～27日の期間(あいちウィーク)において、あいち県民の日に関する啓発及び事業を実施することとします。
- あいち県民の日に関する事業、取組等の実施について、事業者、市町村等に協力を求めることとします。
- あいちウィークにおける公の施設の利用に係る使用料等で知事が定めるものについて、全部又は一部を免除することができることとします。





妊婦・子育て家庭へ経済支援・伴奏型支援を行います

- 対象経費 妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等にかかる経費
- 支給額 妊婦1人当たり5万円、新生児1人当たり5万円
- 支給対象者 妊婦及び出生した子どもを養育する者(※2022年4月1日以降の出産を対象)
- 支給時期 市町村において準備が整い次第

	妊娠初期	妊娠後期	出産・産後	育児期
伴走型相談支援	実施者:市町村(子育て世代包括支援センター等)			
	面談①	面談②	面談③	情報発信
経済的支援	妊娠届出時5万円		出生届出時5万円	

● 問合せ先 福祉局子育て支援課 管理・施設グループ 内線3189・3197 (052)954-6625(ダイヤルイン)

愛知県が運営するコロナワクチンの大規模集団接種場では予約なし接種を実施しています

「予約なし接種会場」

会場	2023年の接種日	受付時間
名古屋空港ターミナルビル	1月5日～3月末	木、金、土 12時～19時
愛知医科大学メディカルセンター	1月6日～3月末	金 13時～19時 土 12時～18時 日 10時～18時
JA愛知厚生連安城厚生病院	1月7日～3月末	土 9時～11時 13時～16時 日 9時～11時

必ず接種券、本人確認書類をお持ちください。12才～15才までの方は、保護者の同伴が必要です。11才以下の方の接種は予約が必要です。

● 問合せ先 愛知県感染症対策局感染症対策課ワクチン接種体制整備室 (052)954-7410(ダイヤルイン)



大村知事に聞きました



今回は 愛知県警本部長にも聞きました

カーボンニュートラルを実現するため、中小企業への支援をどのように取り組まれるのか?

(知事答弁要旨) 脱炭素経営のメリットや成功事例の紹介と共に排出量の算定や削減目標の設定など中小企業の脱炭素化に必要な支援を行い、カーボンニュートラル社会の実現につなげていく。



健康寿命の延伸についてどのように取り組まれるのか?

(知事答弁要旨) 健康寿命の延伸を実現するためには、一人ひとりが健康づくりに取り組むとともに、社会全体で支えることが何よりも重要。
現在、本県では、生活習慣や健康づくりに関する県民調査を行っており、今後は、この結果も参考にして、生涯を通じ健康でいきいきと過ごすことができる「健康長寿あいち」の実現を目指していく。



今後の金利上昇に備え、県としてどのように財政運営に取り組まれるのか?

(知事答弁要旨) 2019年度決算の水準を超えることのないよう維持・抑制に努めている。国内金利が上昇傾向にある中、県債の発行にあたっては、市場環境に即した適正な発行条件にできるよう取組を進めている。
さらに、こうした市場環境の変化に適切に対応していくには、金融等に関する専門的な知識が必要となる。このため、地域経済の動向や金融情勢の変動に関する情報収集に長けた国など関係機関との連携を図りながら、地域経済分析や金融機関に精通した専門性を有する人材の育成にも取り組んでいく。

交通事故防止対策を推進するため、ゾーン30プラスを今後どのように進めていかれるのか?

(警察本部長答弁要旨) ゾーン30プラスの整備に際しましては、今月中に名古屋市中村区内において県内初となるゾーン30プラスを整備する予定となった。また、今年度中には、名古屋市瑞穂区においても更に一か所の整備を予定している。
引き続き、道路管理者と緊密に連携の上、地域住民との合意形成を図りながら、ゾーン30プラスの整備を推進していく。



中高一貫教育導入校が決定しました

愛知県ではゆとりのある計画的・継続的な教育指導と、中学1年生から高校3年生までの中高一貫教育を一部の県立高校に併設します。開校はいずれも2025年春を予定しています。(現在の小学校4年生の児童が中学校に入学する時点で開校)

- 開校 2025年4月
- 探究学習重視型実施校 明和高等学校(普通科、音楽科)・津島高等学校(国際バカロレア)・半田高等学校・刈谷高等学校 豊田西高等学校・時習館高等学校・西尾高等学校 ☆選抜方法:適正検査、面接、調査書、他を想定
- 地域の教育ニーズ対応型 不登校経験のある生徒の能力、可能性を引き出す学校…日進高等学校 外国にルーツのある生徒の能力、可能性を引き出す学校…西三河地区を中心に検討 地域を支える人を育てる学校…美和高等学校
- 高度ものづくり型 愛知総合工科高校

● 問合せ先 県教育委員会高等学校教育課教科・高校改革室 中高一貫教育グループ (052)954-7432(ダイヤルイン)

